

[横浜市岩間市民プラザ]

令和4年度業務計画

[吉野町・岩間アート&メディアパートナーズ]

※ 文中の事業欄において、
●：主催事業 ○：共催事業
を示します。

※ 文中の達成指標欄において、
□：定量的指標 ■：定性的指標
を示します。

1 施設の概要

施設名	横浜市岩間市民プラザ
所在地	横浜市保土ヶ谷区岩間町 1-7-15
構造・規模	鉄筋コンクリート造地下1階地上5階建て
敷地・延床面積	建築面積 1,314.73 m ² 、延床面積 5,213.74 m ² (岩間市民プラザ占有面積 2,120.93m ²)
開館日	平成3年7月27日

2 指定管理者

団体名	吉野町・岩間アート&メディアパートナーズ
所在地	横浜市西区西平沼町6-1
代表者	代表取締役社長 熊谷 典和
代表事業者設立年月日	昭和49年9月10日
指定期間	令和4年4月1日から令和9年3月31日まで
現指定管理者の 管理運営開始日	平成28年4月1日

3 指定管理に係る業務方針 指定管理業務実施にあたっての方針

(1) 基本的な方針

【基本理念】

人をつなぎコミュニティを活性化するすべての市民にとっての広場となる

【業取実施にあたっての基本的な方針】

これまでの指定管理期間で取り組んできた共同事業体の構成企業の強みを活かした事業展開や強化ポイント、地域と育んできた関係性は堅持しつつ、さらに拡げていくことを目指します。そのため、新たに下記の6項目を運営における基本的な方針とします。

1. 全ての市民の「広場」

文化芸術とは市民生活の中、暮らしと共に存在するものです。市民プラザはその市民を受け入れる新たな広場となり、市民と協働しながら文化芸術を振興し期待される社会の形成に取り組みます。

2. 市民と協働し、伴走する

市民プラザの活動の主体は市民であり、地域文化を育てるのは市民自体です。市民の要望（意欲、意思）を大切にします。つまり私たちの役割は専門的な知見を背景に、市民の活動を支援し伴走することです。

3. 多層のネットワークをコミュニティに創る

市民プラザが総合的文化芸術推進の視点に立ち、市民、NPO等団体、企業、教育機関、福祉機関、行政と関係を結び、相互に連携協力し、継続的な関係性を維持し、文化的コモンズの核となるよう努めます。

4. 包摂型文化芸術振興

市民プラザの施設内外を問わず、事業、運営、管理すべてにおいて、誰もが参画できる、排除される人がいない取組みを進め、全ての人を対象とした、社会包摂を前提とした活動を推進します。

5. コミュニティを活性化していく人材の育成

人材育成は地域の活性化にとって重要であり、子どもの次世代育成や創造的活動だけではなく、文化芸術の力を活かし社会的課題解決につなげるコーディネーターや、サポート人材の育成も促進します。

6. 市民プラザ2館の連携、かつ3館連携、さらにその先のネットワーク化

市民プラザは南区と保土ヶ谷区に位置しており、3連携の関内ホールは中区で近隣区であり、これまで通り連携を続けていきます。さらに他地域施設や団体などとの連携も進めていきます。

(2) 令和4年度の業務の方針

ア 全体について

令和4年度より第二期指定管理期間を迎えます。提案書に掲げた基本方針や諸業務の達成に向け、新たな取り組みへ着手するとともに継続業務を確実に遂行します。新型コロナウイルスの影響が今後も継続するであろうことを踏まえ、利用者に安全と安心を提供する施設運営に努めます。

イ 使命1 文化芸術活動をはじめとする市民の活動の場となる

利用者の気持ちにそった施設運営を行います。初めての利用者がスムーズに施設を利用できるよう、申込方法等を丁寧に説明するとともに、施設を試用する機会を設けます。また来館者・利用者のニーズの把握に努め、日々の業務にフィードバックします。ホスピタリティ向上につながるさまざまな取り組みによって、利用率増や総来場者数増を目指します。

また、ターゲットにあわせた広報手段で施設の情報を発信するとともに、施設の説明会や、既存の利用者と新規利用が見込まれるお客様をマッチングする取り組みなどを行い、施設の周知促進と利用者層の拡大を図ります。

ウ 使命2 文化芸術活動への参加の機会を提供する

楽器、朗読、作品鑑賞など様々な講座を開催し、身近な場において文化芸術を体験できる機会をつくります。講座・体験・参加など多様な糸口をもつ、文化芸術と身近に出会える機会を提供します。文化芸術を切り口としながら地域資産を顕在化させる市民のさまざまな取り組みとも連携し、施設の外にも文化芸術と身近に出会える場をつくります。市の中心部と郊外部の結節点に位置する市民プラザならではの取り組みで、市民と文化芸術を結びます。

エ 使命3 次世代を担う人材を育む

子どもにとって初めて鑑賞する文化芸術や、初めて発表するステージ体験などの機会を提供し、子どもの心に文化芸術の芽を育てます。次代を担う子どもたちが文化芸術と出会い、自ら創作する喜びや、表現する楽しさを体験し豊かな創造性や感受性を育むための事業を実施します。若い世代が市民プラザを利用しやすくなる仕組みを作ります。指定管理初年度はアンケートやインタビューをとおしたニーズの調査と取り組み方法の検討を行います。初めて文化芸術に触れる方でも親しみやすくわかりやすい事業を実施します。市民とともに事業を企画、実施し、その活動をサポートします。文化団体や電化活動をする人の活動に協力し、文化芸術の担い手や活動を支える層を厚くします。

オ 使命4 文化芸術活動を媒介として地域の人々を結びつける

文化芸術の力で人と街と施設を繋げる取り組みを実施します。地域団体への協力を通じて、市民と施設の良い関係を築き、地域コミュニティの中核として認識される運営を行います。近隣文化施設や各種文化団体、商店街、自治会等とのネットワーク構築に努め、個別に館スタッフが訪問して関係性を構築し、継続した情報交換や共同事業、連携事業を実施します。さらにはコミュニティ活性化に寄与するための施設の将来のあり方検討を進めます。地域のさまざまな取り組みをつなぐ役割を担い、市民活動が相乗効果を発揮できるよう支援します。共同事業体の強みを活かした広報活動により、地域の活性化に貢献します。市民の多様性に配慮しながら、幅広く人と人をつなぐ施設運営を行います。施設活用のさまざまな可能性を発信し、より幅広く人が集まり、つながるような取り組みを行います。地域市民とともに施設の未来のあり方を考えるプロジェクトを立ち上げます。

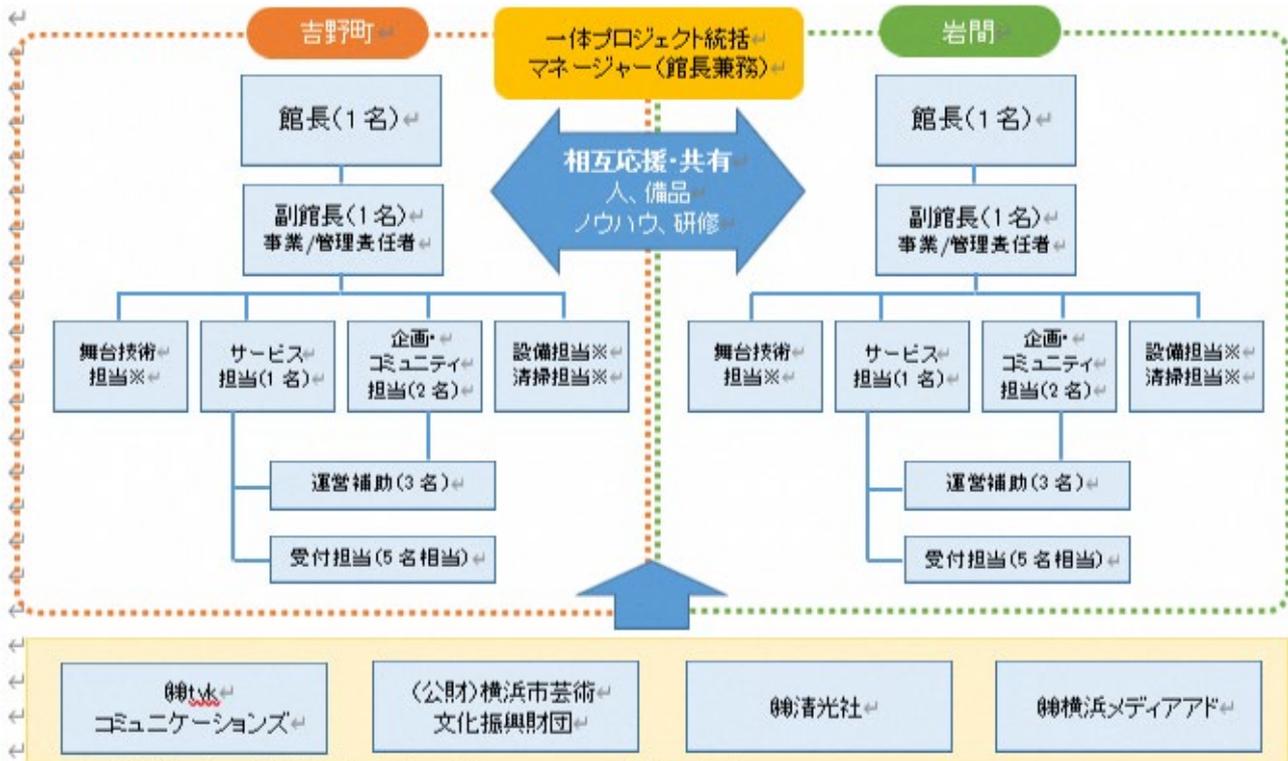
カ 使命5 持続可能性を高める施設運営を行う

法令等に則った施設の保守・点検や日常的な予防的修繕などの維持管理を行い、安全で快適な施設を維持します。館内他団体と連携しながら万一を想定したリスクマネジメントを行います。効率的な経費の執行や収入増の取り組み等により、安定的な施設運営を行います。

キ 使命6 新型コロナウイルス感染症の影響を想定し施設運営を継続する

感染状況に応じたリスク管理に基づく自主事業運営を行い市民の期待に応えます。ガイドラインの遵守や利用人数の管理、消毒等の実施により利用者により安心安全な環境を提供します。感染症の影響が大きい時期は大幅な収入減は避けられません。徹底した経費節減と助成金等の外部資金導入に努めます。

4 運営組織の構造、人員配置



※ 舞台技術担当、清掃担当はそれぞれのシフトで勤務します
 ※ 設備担当は、岩間はシフト勤務、吉野町はシフト外で勤務します

共同事業体各社から文化施設での実務経験のある職員を配置します。

統括責任者である館長、実務チーフである副館長には、文化芸術のみならず管理・運営（貸館等）・事業全般に精通し地域や関係機関と密接な関係を築ける、経験豊富な職員を配置します。

コミュニティ促進及び市民プラザの地域コミュニティ拠点施設化という今期の重要な課題に対しては、2館で一体的な取組みを行うプロジェクトを組織的に立ち上げます。

職員全員が、お客様対応、受付業務、貸館業務等に習熟し、安定した運営を実現できる組織体制とします。

舞台技術、設備、清掃各担当には、専門的な知識と経験を有する職員を配置します。

自主事業や突発的な施設不具合などの際は、両プラザ相互の人的応援に加え、共同事業体各社がバックアップします。

5 令和4年度の業務の取組

(1) 文化事業

第二期指定管理期間の初年度事業は、参加者が定着し地域から期待されている既存事業をさらに精査しながら継続しつつ、使命達成のための新たな取り組みとなる事業の手法検討と一部事業の試行を行います。事業収支については、年間の事業収入と事業費支出のバランス維持を基本姿勢としつつ、感染症が拡大傾向にある時期においても、比較的収支バランスを取りやすい事業を優先的に実施しながら、施設の事業継続に努め、市民の期待に応えます。

ウェブを活用した事業にも積極的に取り組みますが、当該事業についても採算性については例外とせず、ウェブによる事業の収益化についても模索します。

感染症収束期には、前年度まで実施困難であった地域との交流事業の再開にむけ、地域の各団体と協議を行います。

具体的な取組内容は、指定管理業務計画表に記載します。

(2) 施設運営

利用料金収入は施設の収支安定の柱です。感染症ガイドラインを周知徹底し、利用者に理解と対応を求めるとともに、施設側も各施設や備品の消毒作業や換気を徹底し、利用率の維持向上をはかります。さらに新たな利用者獲得のため提案書に記載した「ウェルカムプラザ」や「来てみてプラザ」「U25 プラン」などの取り組みについては、利用者のニーズ調査や具体的な実施方法の検討を行い可能なものから着手します。

具体的な取組内容は、指定管理業務計画表に記載します。

(3) 施設管理

開館年数相応の施設劣化に対応するため、不具合箇所のリストアップを行ったうえで優先順位付を行い、指定管理者対応案件の実施と、設置者対応案件は対応の提案を行います。特に安全管理に関わる事案は最優先事項と位置付けて短期間で修繕が完了するよう努めます。

感染症対策はもとより、火災、地震、水害、風水害等に対するリスクマネジメントについては、偕恵いわまワークス、国際交流ラウンジ、三師会館と日常的に緊密な連携をとりつつ、万一の際の対応方法の確認や訓練の実施に取り組みます。

具体的な取組内容は、指定管理業務計画表に記載します。

(4) 収支

共同事業体それぞれの専門性を活かし、広報活動による事業収支の安定化や、管理運営経費の効率化により、安定した収支を実現します。新規利用者増、マスメディアや SNS を活用した情報発信、外部資金の獲得など、収入増のためのさまざまな取り組みを行います。水道光熱水費をはじめとする管理運営経費の削減に努めます。

具体的な取組内容は、指定管理業務計画表に記載します。

(5) 各種計画書・報告書の作成及び業務評価

横浜市民プラザ指定管理者業務の基準に定めのある計画書・報告書等の各種書類については、横浜市所管課の要請も踏まえつつ適時適切に作成します。業務評価にあたっては、完了確認表や自己評価表を作成するとともに、行政評価ならびに選定評価委員の評価を真摯に受け止め、必要な項目は改善するなど PDCA サイクルをまわし業務の品質向上に繋がります。

具体的な取組内容は、指定管理業務計画表に記載します。

(6) その他

第二期指定管理期間より、岩間・吉野町両市民プラザの一体的な取り組みの強化がスタートします。両館共通の使命達成に向けて一体プロジェクト統括マネージャーの元、新たな取り組みに着手します。関内ホールを含めた 3 館連携の取り組みについても具体的な事業の検討を進めます。

具体的な取組内容は、指定管理業務計画表に記載します。

6 使命の指標の達成状況と重点的取組事項

(1) 使命1 文化芸術活動をはじめとする市民の活動の場となる

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成 指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成 指標	R 8 実績
1	貸館利用率	ホール	—	93%	—	—	95%	—
		ギャラリー	—	54%	—	—	57%	—
		リハーサル室	—	74%	—	—	75%	—
		レクチャールーム	—	60%	—	—	64%	—
		スタジオ	—	81%	—	—	84%	—
2	総来場者数	—	58,000 人	—	—	—	60,000 人	—
3 ★	利用者アンケート回収率	—	60%	—	—	—	60%	—
4 ★	利用者インタビュー	—	20件	—	—	—	20件	—

イ 定性指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	利用者の状況についての現状把握	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	利用者アンケートによる現状把握
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	利用者インタビューによる改善効果の検証
		R 8 実績	—
2 ★	利用者施設をつなぐ「ピアノプラン」、利用者同士をつなぐ「来て見	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	普段施設を利用されていない方が来館利用するきっかけとなる。
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	文化芸術活動に参加したい人を、募集する団体につなぐ。
		R 8 実績	—

	て市民プラザ（仮称・新規）を実施する		
3 ★	利用者の年代や居住エリアを分析し、ターゲットに合わせた広報手段で発信する	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	来館者アンケートを実施、分析して広報手段について再確認・見直しを行う。
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	これまでの来館者の年代・エリア推移を精査し、結果を検証する。
		R 8 実績	—

ウ 使命1を達成するために重点的に取り組む事項

「ピアノプラン」や「来てみてプラザ」「U25プラン」などについて、利用者のニーズ調査や具体的な実施方法の検討を行い、可能なものから着手します。

(2) 使命2 文化芸術活動への参加の機会を提供する

ア 定量指標（★は提案者が提案した指標）

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成指標	R 8 実績
1	体験型事業の事業数および実施回数	—	3事業 25回	—	—	—	5事業 30回	—
2	アウトリーチ事業の実施回数 芸能ホール	—	7回	—	—	—	10回	—
3	来場者（参加者）満足度	—	4.5 (5段階)	—	—	—	4.5 (5段階)	—
4 ★	講座・体験・参加を取り入れた鑑賞型事業	—	5事業 15回	—	—	—	5事業 15回	—
5 ★	横浜トリエンナーレ、横浜音祭り、Dance Dance Dance @YOKOHAMA 参加事業の開催	—	1回	—	—	—	1回	—

イ 定性指標（★は提案者が提案した指標）

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
		達成指標	実績
1	参加者の定性分析	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	事業の参加者アンケートを分析し、次の企画に分析結果を生かす。
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	事業の参加者アンケートをこれまでと比較し、達成度の推移を見る。
		R 8 実績	—
2 ★	文化芸術活動に役立つ講座の開催	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	来館者のニーズを把握し、今後の企画に生かす。
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	過去の参加者のデータをもとに、講座開催の成果の検証を行う。
		R 8 実績	—
3 ★	アウトリーチ事業を地域のアーティストや利用団体と協働で開催	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	地域のアーティストや団体と協働し、普段施設に来館されない方々に、芸術文化に触れていただく機会を提供する。
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	あらたに施設を利用し始めたアーティストや団体と、新しいイベントを開催する。
		R 8 実績	—
4 ★	オンラインイベントの開催	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	施設主催の講座に参加する受講者が、オンラインで成果を発表できる機会を作る。
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	5年間の成果の精査を行う。
		R 8 実績	—

ウ 使命2を達成するために重点的に取り組む事項

体験機会の少ない楽器・または逆になじみのある楽器の講座、一人でもグループでも楽しめる話

芸の講座などの体験講座を行い、利用者の文化芸術活動をはじめのきっかけづくりに努めます。また、地域のアーティスト・団体との関係を深めることに努めます。

(3) 使命3 次世代を担う人材を育む

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成 指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成 指標	R 8 実績
1	子どもや親子連れをターゲットとした事業数	—	5 事業	—	—	—	8 事業	—
2 ★	学校や保育園と連携した事業	—	3 事業	—	—	—	3 事業	—
3 ★	市民とともに企画・実施する事業	—	3 事業	—	—	—	3 事業	—

イ 定性指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	近隣の文化団体の状況把握	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	アートネットワーク会議を開催し、状況を把握する。
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	アートネットワーク会議から生まれた活動を支援する。
		R 8 実績	—
2	子どもたちや学校の定性分析 (インタビュー調査)	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	インタビュー調査の結果を、事業や運営に 3 件反映する。
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	インタビュー調査の結果を、事業や運営に 5 件反映する。
		R 8 実績	—
3 ★	若い世代の文化芸術活動を応援する事業の実施	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	「U25 プラン」「ジュニア割引」「ウェルカムジュニア」等を実施し、若い世代の利用を応援する。
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	近隣・地元の保育園・幼稚園・小中大学校と連携し、より積極的に活動を応援する。

		R 8 実績	—
4 ★	文化団体 や文化活 動をする 人の活動 に協力	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	地域の文化団体が活動する際、広報などの協力をする。
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	地域の文化活動団体等との協働し、事業を開催する。
		R 8 実績	—

ウ 使命3を達成するために重点的に取り組む事項

近隣保育園様のご協力を得、子どもたちの作品展示を行ったり、地域で活動している団体の協力を得て、子どもたちを招いての紙芝居会を開催したりするなど、文化芸術体験を通して、子どもたちと地域の皆さんの交流の機会を作ります。

(4) 使命4 文化芸術活動を媒介として地域の人々を結びつける

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成指標	R 8 実績
1	地域の施設・団体と連携して実施した事業数	—	4 事業	—	—	—	6 事業	—
2	社会的包摂の実現を目指す事業数	—	3 事業	—	—	—	4 事業	—
3 ★	連携する団体数	—	6 団体	—	—	—	8 団体	—

イ 定性指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	連携した ことによ る地域の 定性分析	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	連携する地域行事の参加者を把握する。
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	連携する地域行事の発展・拡大を目指す。
		R 8 実績	—
2	社会的包 摂の実現 を目指す 事業への	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	ヒアリングにより参加者の意識を調査・分析し、次の事業へ反映させる。
		R 5 実績	—

	参加者へのヒアリング・分析	R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	ヒアリング結果を反映した事業の参加者に、変化を問うヒアリングを実施する。
		R 8 実績	—
3 ★	施設内外で地域情報の収集と提供、WEB に動画掲載	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	地域で活動する団体とのつながりを通じて情報を収集し、ホームページ等で紹介する。
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	地域で活動する団体とのつながりを通じて情報を収集し、ホームページ等で紹介する。
		R 8 実績	—
4 ★	未来開発プロジェクトの実施	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	地域の人材との連携を深める。
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	施設と地域の人材によるあらたなプロジェクト・チームを立ち上げる。
		R 8 実績	—
5 ★	こどもと一緒に参加しやすい工夫（おむつ替え、授乳の場所を提供）	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	安心して授乳できるスペースを工夫する。
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	来館者に聞き取りを行い、ご意見・要望などを収集する。物理的にも実行できる点は、反映し改善する。
		R 8 実績	—

ウ 使命4を達成するために重点的に取り組む事項

5年後を見据え、未来開発プロジェクトの結実の準備として、まずは、地域の魅力の発掘、地域の人材との出会いなどにつながる事業の実施、及び地域の団体との協働に取り組みます。

(5) 使命5 持続可能性を高める施設運営を行う

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成 指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成 指標	R 8 実績
1	施設の管理瑕疵に起因する事故件数	—	0件	—	—	—	0件	—
2	法定点検等の実施	—	100%	—	—	—	100%	—
3	修繕予算の執行率	—	90%	—	—	—	90%	—
4 ★	職員及び共同事業者構成員自らが実施する小破修繕	—	5件	—	—	—	5件	—

イ 定性指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	施設の使いやすさや快適さについてのヒアリング	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	利用者アンケートや事業参加者アンケートに、施設の使いやすさや快適さの設問を設け、意見を収集する。
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	利用者アンケートや事業参加者アンケートに、施設の使いやすさや快適さの設問を設け、意見を収集する
		R 8 実績	—
2	管理運営費推移の要因分析	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	省エネカルテを作成、分析し、光熱水費節減に役立てる。
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	省エネカルテを作成、分析し、光熱水費節減に役立てる。
		R 8 実績	—
3 ★	施設設備は長く使うことを前提に負荷の少ない運用	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	職員による日常的な機材などの状況確認をし、小さい不具合等の早期発見を心がける。
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	職員による日常的な機材などの状況確認をし、小さい不具合等の早期発見を心がける。

		R 8 実績	—
4 ★	事業別収 支計画の 立案、結 果の分析 を次回に 活用	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	月次収支の精査、事業単位での収支精査。分析の結果は次回に活用する。
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	5年間の成果の精査
		R 8 実績	—

ウ 使命5を達成するために重点的に取組む事項

機材取扱い研修を通じて、職員が利用者に使い方を案内するとともに、日常的に備品の状態を確認でき、異常を速やかに認識して対応できる体制づくりに努めます。

また、ギャラリー・ホールについて、予約システムの予約期間を過ぎた空き時間帯を活用しての利用料収入増加、他の室場については空き状況を分析して、利用率増加のために役立てます。

令和4年度 「岩間市民プラザ」 収支予算書及び報告書

収入の部							(税込、単位：円)
科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明	
指定管理料	73,762,000		73,762,000		73,762,000	横浜市より	
利用料金収入	17,000,000		17,000,000		17,000,000		
自主事業収入	6,611,800		6,611,800		6,611,800	教育プラットフォームを含む	
雑入	693,490	0	693,490	0	693,490		
印刷代	6,000		6,000		6,000	館内コピー機利用料	
自動販売機手数料	240,000		240,000		240,000	館内設置の飲料自動販売機2台分	
その他(協賛金、助成金等)	447,490		447,490		447,490	協賛金助成金等	
収入合計	98,067,290	0	98,067,290	0	98,067,290		
支出の部							
科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明	
人件費	51,904,700	0	51,904,700	0	51,904,700		
給与・賃金	43,755,000		43,755,000		43,755,000		
社会保険料	6,403,200		6,403,200		6,403,200	共同事業体各社で出向者分を負担	
通勤手当	1,746,500		1,746,500		1,746,500		
健康診断費			0		0	共同事業体各社で出向者分を負担	
勤労者福祉共済掛金			0		0	共同事業体各社で出向者分を負担	
退職給付引当金繰入額			0		0	共同事業体各社で出向者分を負担	
事務費	2,139,840	0	2,139,840	0	2,139,840		
旅費	50,000		50,000		50,000		
消耗品費	210,000		210,000		210,000	コピー用紙、事務用品代	
会議賄い費	0		0		0		
印刷製本費	200,000		200,000		200,000		
通信費	1,300,000		1,300,000		1,300,000		
使用料及び賃借料	81,840	0	81,840	0	81,840		
横浜市への支払分	81,840		81,840		81,840	目的外使用料	
その他			0		0	北°-機以外料	
備品購入費	0		0		0	32,400円以上の備品購入費	
図書購入費			0		0		
施設賠償責任保険	50,000		50,000		50,000		
職員等研修費	0		0		0	研修費	
振込手数料	72,000		72,000		72,000		
リース料	161,000		161,000		161,000		
手数料			0		0		
地域協力費	15,000		15,000		15,000		
事業費	6,611,800	0	6,611,800	0	6,611,800		
自主事業費	6,611,800		6,611,800		6,611,800	教育プラットフォームを含む	
管理費	31,342,570	0	31,342,570	0	31,342,570		
光熱水費	9,058,000	0	9,058,000	0	9,058,000		
電気料金	6,057,000		6,057,000		6,057,000		
ガス料金	1,881,000		1,881,000		1,881,000		
水道料金	1,120,000		1,120,000		1,120,000		
清掃費	5,540,370		5,540,370		5,540,370		
修繕費	800,000		800,000		800,000	設備関係修繕費、舞台関係修繕費	
機械警備費	347,480		347,480		347,480		
舞台技術員	0		0		0		
設備保全費	15,596,720	0	15,596,720	0	15,596,720		
空調衛生設備保守	1,740,520		1,740,520		1,740,520		
消防設備保守	437,840		437,840		437,840		
電気設備保守	641,770		641,770		641,770		
害虫駆除清掃保守			0		0		
駐車場設備保全費			0		0		
その他保全費	12,776,590		12,776,590		12,776,590	舞台音響照明機構保守費、ロールバックチェア、EV保守費等	
共益費	0		0		0		
公租公課	5,151,700	0	5,151,700	0	5,151,700		
事業所税	141,700		141,700		141,700		
消費税	5,000,000		5,000,000		5,000,000		
印紙税	10,000		10,000		10,000		
その他()			0		0		
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	916,680	0	916,680	0	916,680		
本部分	916,680		916,680		916,680	経理事務負担分、確定申告税理士報酬負担分、プラザHP保	
当該施設分	0		0		0		
支出合計	98,067,290	0	98,067,290	0	98,067,290		
差引	0	0	0	0	0		